



## 県界尾根 ～大天狗 テント泊山行

- 3月16日～17日
- 天気 ★1日目:晴れのち雪 ★2日目:晴れのち雪
- メンバー: CL 佐藤 SL 齋藤 宮城 萱野香 森田 松本(記録)

当初予定の焼岳代替案として出されていた県界尾根から赤岳主峰へ向けての登山計画でしたが降雪とラッセルに阻まれ大天狗までの行程で終了となりました

- 1日目 9:00 登山口～12:00 小天狗～14:30 2250m付近で幕営
- 2日目 6:15 出発～8:00 大天狗～9:00 幕営地～10:20 下山開始～12:30 登山口



千葉を4時に出発、SAで朝食を取り順調にサンメドウズ清里スキー場の広いスペースに余裕で駐車する。天気はこれから下り坂になるというのが嘘のような青空だが山には雲がかかっている主峰は見られず。車道を20分ほど歩き登山口から見覚えのある堰堤をいくつか超え1時間ほどで尾根への分岐に着く。

小天狗への登りに備えアイゼンをここでつける。雪道には前日か？比較的新しい感じの二人ほどのトレースがあり有難く迎らせてもらう。

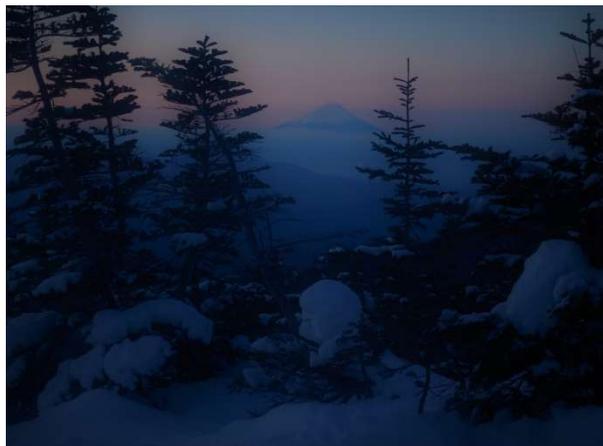
ほどなくしてカモシカちゃんに遭遇、見送られ、さらに高度を稼ぐ。毎回のごとく人一倍ゼゼエ息荒く、そしていつもこの時だけ明日から走ろうと思う。



すると小天狗ピーク少し手前で突然トレースが無くなる。先行者様はここで引き返したようだ。まだ県界尾根の序盤なのに諦めるの早くないですか。。辛かった気持ちは共有できるが我々は屈せずにワカンに履き替え時にザックを下ろして空身で、膝や手を使い果敢に雪をのけて道を作り進む。ルート取りも、ほんの少しでも楽をしようとゆるい傾斜を選ぶのが難しい。膝くらいの雪でこんなに体力を消耗するのだから、腰や胸までのラッセルは想像するだけで怖くなる。スタートから約3時間後、無雪期の倍以上かかって小天狗に着いた。いつの間にか曇り空、はらはらと雪も降りだし、15時を目処に大天狗まで行ければ良いねと言っていたが段々とあられ混じりの降雪が酷くなって来たので大天狗は諦めて2250m付近でテントを張る事にした。



降り積もる雪の中のテント設営が終わりホッと一息、明日の心配は置いて、森田さんの作ってくれたトマトチーズ鍋を囲んで温かいテントの中で楽しい時間を過ごす。



4時起床、雪は止んで青空も富士山も見えている。ラーメン雑炊をいただき、ハーネスとヘルメットを装着して出発するも歩き出しスタートから雪に潜ってとても歩きづらい。大天狗を目指して昨日に引き続きラッセル藪漕ぎ急登でテン場から2時間近くかけてようやく着い

た。



赤岳右側の大天狗を目指す



そこから頂上へは雪がなければ 1 時間半くらいなのだが、この調子だと取り付きまででも時間切れになりそうだ。

しかも稜線の向こうから雪雲が近づいてきて降り始めてきた。今日はここまでで引き返すことになった。となると気持ちは甲斐大泉の親子井の店へ。 営業時間内に間に合うかな！？

テントに戻りお茶をした後、登山口へ向けて一目散。途中、ソロ男性と往路で会ったカモシカちゃんが私達のトレースをたどって登ってきた。



大活躍だったラッセルレディース



頼もしい歩荷班

ギリギリまでワカンの世話になり、ラッセル訓練山行！？は終わった。

夏に日帰りで登っているのに 1 泊 2 日でも登れなかった。

「雪山はそういうもんです。」はい、KG さんのおっしゃる通りでございます。

一人でも前を行く人がいるのとノートレースでは雲泥の差がある。雪の状態でも疲労度が大きく異なる。表面が硬いモナカ雪？の部分、不安定な斜面での重いザックの上げ下ろしは非常に疲れた。他にも湿った降雪は物が濡れやすいことや、踏み抜き注意の列の順番の入れ替え等々、私は経験した事が無い事沢山あり、とても勉強になりました。

一人だったらきっと最初のトレースが消えたあたりで自分も引き返したでしょうね。

皆さんが居たので頑張れました。ありがとうございました！



埋もれてしまってる大天狗の道標  
下界は春めいているのに山はこんな雪模様



我々のトレースを登ってきたカモシカちゃん。カモシカのような足は間違いだそう。



15時くらいにはからあげ定食で満腹になっている不思議